

# Istanbul Weekly vol.6-no.42

## イスタンブールウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2017年11月24日（金）

### — 今週のポイント —

- 政治**：国会議長選出選挙でカフラマン国会議長 (AKP) が再任。  
シリア危機解決に向け、トルコ・露・イランの首脳が会談。
- 経済**：シムシェッキ副首相：為替低下、インフレ率上昇は一時的な問題。  
11月の消費者信頼感指数、今年最低の 65.2 ポイント。
- 治安**：警察がイスタンブールでのテロを企図した PKK 戦闘員の写真を公開。  
治安当局がイズミル県等で不法移民 547 名を拘束。
- 軍事**：NATO 軍事演習でアタテュルク初代大統領の写真を攻撃ターゲットとして使用。
- 社会**：伝説の重量挙げ選手、死去。

### 政治

#### ●AKP 党内刷新：党所属の市長等の評価を実施

17日、カヤ AKP 副党首は、党会合で、2019年の地方選に向けた党内刷新の一環で、全ての AKP 所属市長に対し評価を実施すると通達した。各自治体のパフォーマンスの評価、失業率、結婚・離婚率を始めとした細部にわたる分析が行われる予定。また、同副党首は、今後も、AKP 所属市長の辞任が続く可能性にも言及した。(11月19日付 M 紙 16 面)

#### ●国会議長選出選挙でカフラマン国会議長 (AKP) が再任

20日、国会本会議で、任期中に一度行われる国会議長選挙が実施された。第1回目及び第2回目の投票では、規定で定められている全議席数の3分の2(367票)を獲得した候補者はなく、第3回目の投票で、AKPの現職イスマイル・カフラマン国会議長が、全議席の過半数(276票)を上回る289票を獲得し再任された。(11月21日付 M 紙 17 面)



(写真は、11月21日付 M 紙インターネット版より)

### 【外交】

#### ●ユルドゥルム首相、レザ・ザラフ裁判に言及「根拠の無い噂に基づいている」

22日、ユルドゥルム首相は、「トルコ経済サミット」において、対イラン制裁違反及びマネーロンダリング等の罪で拘束中のイラン系トルコ人実業家レザ・ザラフ氏の裁判が米国で実施されることについて、本件裁判は根拠の無い噂に基づいている

と述べ、裁判の実施は、トルコとの経済関係に実害を与えると批判した。同裁判は、12月4日から行われる予定。(11月23日付 H 紙 22 面)

#### ●シリア危機解決に向け、トルコ・露・イランの首脳が会談

22日、ソチで、シリア危機の解決に向けて、トルコ・露・イランの首脳が会談した。エルドアン大統領、プーチン露大統領、ロハニ・イラン大統領は、シリアの将来に対する新たなロードマップについて協議を行い、シリアの政治及び領土の一体性の重要性を確認した。また、エルドアン大統領は、アスタナ・プロセスは前向きな動きではあるが十分ではないとしつつ、シリアにおいて永続的な政治的解決が必要である旨述べた。また、同大統領は、新ロードマップに YPG が加わらないよう強く牽制した。(11月23日付 M 紙 16 面)



(写真は、11月23日付 M 紙インターネット版より)

### 経済

#### 【マクロ経済】

#### ●ルドビク・サブラン、今年の企業倒産件数は1万2,800件に達すると予測

16日、信用保険会社ルドビク・サブラン (Ludovic Subran) のエルメス・チーフエコノミストは、トルコリラの下落が外貨建てで債務を抱える企業に損害を与えたため、2017年の企業倒産件数は対前年比4%増の1万2,800件に達すると予測した。

一方で、主に信用保証基金(KGF)の支援及びローン再編の動きにより、企業倒産件数は2018年には対前年比約4%減の1万2,300件に回復する見込みと発表した。(11月17日付HDN紙10面)

#### ●アルスラン運輸海事通信相:電子商取引の割合を3、4年間で2、3倍に

20日、アルスラン運輸海事通信相はアンタルヤで開催された国際電子商取引サミットにおいて、「トルコの電子商取引率は売上全体のわずか3.5%であるが、世界の平均値8.5%であることから大きな伸びしろがあるといえる。今後3、4年間で同取引の割合を2、3倍に増やすことを目指す。」と述べた。(11月22日付HDN紙10面)

#### ●シムシェッキ副首相:為替低下、インフレ率上昇は一時的な問題

トルコリラの為替レートが対米ドル3.98という最安値を記録した直後の22日、シムシェッキ副首相は、トルコリラの価値下落はインフレ率上昇圧力の原因となっていると述べた。一方で、同首相は、トルコ市場に深刻な変動があったが、(その要因とされる)米国や西欧諸国との問題は一時的なものであり、我々はこれについて冷静に対処する必要があると述べた。(11月23日付HDN紙1面及び10面)



(写真は、11月22日付HDN紙インターネット版より)

#### ●11月の消費者信頼感指数、今年最低の65.2ポイント

22日、トルコ統計庁(TUIK)は、11月のトルコの消費者信頼感指数が65.2ポイントとなり、今年の最低水準であった前月の67.3ポイントから更に低下したと発表。5月の同指数は今年の最高値の72.8ポイントを記録したが、消費者マインドは8月以降着実に低下している。(11月23日付HDN紙10面)

#### 【金融】

#### ●エルドアン大統領:中央銀行は誤った方向を向いていると主張

17日、エルドアン大統領は、アンカラで行われたAKP党会合において、中央銀行はその独立性を主張してきたが、金融政策に政府が介入しないことによってトルコは高いインフレと投資の減速のスパイラルに陥っていると主張した。また、同大統領はインフレ率が高くなる主な理由は金利にあると強調した。(11月17日付HDN紙インターネット版)

#### ●中央銀行、トルコリラの先物外国為替売買の開始を決定

18日、中央銀行はトルコリラの先物外国為替売買の開始を決定したと発表した。同行は、2017年末までに同売買の総額を最大30億米ドルにすることを計画している。2017年のオークション・カレンダーは中央銀行のウェブサイトに掲載されている。(11月19日付HDN紙11面)

#### 【経済政策】

#### ●ゼイベキジ経済相、行動経済学の政策への適用に言及

20日、トルコは経済意思決定の分析に行動経済学を活用するプロジェクト「ナッジ・トルコ」を立ち上げた。ゼイベキジ経済相

は、既に経済省内に行動公共政策を策定するための部署が設置されており、このプロジェクトでトルコの政策全体を策定する予定であると述べた。また、同相は、このプロジェクトは、米国の経済学者リチャード・セイラー氏が行動経済学で2017年にノーベル経済賞を受賞する前に策定されたことを強調した。(11月21日付HDN紙10面)

#### ●EBRD、トルコの女性起業家育成等に融資

22日、欧州復興開発銀行(EBRD)は、EU及びトルコ政府との協力で、これまでに1万5,000人を超えるトルコの女性起業家の育成を支援したと述べた。EBRDは2014年にトルコでの女性起業家の育成及び女性が運営する企業の支援のために、トルコの銀行に3億ユーロの融資を約束。EBRDはトルコの主要5行と提携して銀行からの融資機会拡大を図った。1件当たりの平均融資額は1万5,000ユーロであった。(11月23日付HDN紙1面及び10面)

#### 【企業等の動き】

#### ●トルコのモバイルインターネット経済規模、2016年対前年比18%拡大

21日、グーグル・トルコ及びコンサルティング会社のOC&Cストラテジックコンサルタントの報告書によると、トルコのモバイルインターネット経済規模は2016年対前年比18%増の260億米ドルに達した。同報告は、この数値は2016年のトルコの所得全体の4%に相当し、2023年にはその5.2%に当たる730億米ドルに達すると予測。

#### ●チョバニ・ヨーグルトのトルコ人創業者、若手起業家に対しNY大学で講演

17日、米国の大手ヨーグルト製造業者の1つであるチョバニ(Chobani)ヨーグルトを創業したトルコ人のハムディ・ウルカヤ氏は、若手起業家支援イニシアティブをニューヨーク大学で発表した。昨年の同イニシアティブで選ばれた24人はトルコ及び米国で1か月間研修プログラムを受けた。ウルカヤ氏は1994年に渡米し、2005年にチョバニ・ヨーグルト社を創業。同社の2017年の年間売上高は約2億1千万ドルが見込まれており、ウルカヤ氏自身はフォーブス誌の億万長者リストにも掲載されている。(11月20日付HDN紙10面)

#### 治安

#### 【ISIL関係】

#### ●トルコが指名手配するテロリスト2名がラッカから逃走、トルコ入国か

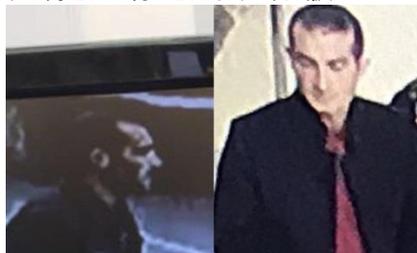
ISILとSDF(シリア民主軍)の取引により、数千人のISIL戦闘員及びその家族がラッカから逃走したとBBCが報じたことに関し、HDN紙は、逃走したISIL戦闘員の中にトルコ内務省に最重要テロリストとして指名手配されている容疑者2名が含まれているとの情報を入手した。トルコ当局は、同容疑者が既にトルコに密入国し、テロを計画している可能性もあるとしている。(11月21日付HDN紙インターネット版)



(写真は、11月21日付HDN紙インターネット版より)

**【PKK 関係】****● 警察がイスタンブールでのテロを企図している PKK 戦闘員の写真を公開**

19 日、警察は、テロ攻撃を行うためにイスタンブールに到着した PKK 戦闘員「ユヌス・サナル」の写真を公開し、情報提供を呼び掛けた。サナルは、偽造 ID を用いて居所を転々と変えており、警察は、これまでに、サナルに安全な場所、移動手段等を支援したとされる容疑者 14 名を拘束している。(11 月 20 日付 HDN インターネット版)



(写真は、11 月 20 日付 HDN 紙インターネット版より)

**● 内務省が PKK 戦闘員の葬儀に参列した HDP 国会議員等に対する告訴を受理**

19 日、内務省は、18 日にディヤルバクル県で行われた PKK 戦闘員の葬儀に参列した国会議員 6 名を含む HDP メンバー等の吊問者についての拘束要請を受理したと発表した。ディヤルバクル県検察庁は、同県の HDP 副支部長についても捜査が開始されたと述べた。(11 月 20 日付 HDN インターネット版)



(写真は、11 月 10 日付 HDN 紙インターネット版より)

**【FETO 関係】****● 警察が FETO に対して昨年のクーデター未遂事件の損害賠償を請求**

19 日、トルコ警察は、昨年 7 月のクーデター未遂事件によって、建物、データ処理センター、ナンバープレート認証システム、監視カメラ、車両 186 台等が被害を受けたとして、FETO に対し、約 870 万米ドルの訴訟を提起したと発表した。アンカラ裁判所に提出された申立てでは、ギュレン師を含む容疑者 661 名に連帯責任があるとされている。(11 月 19 日付 HDN インターネット版)

**【その他】****● 治安当局がイズミル県等で不法移民 547 名を拘束**

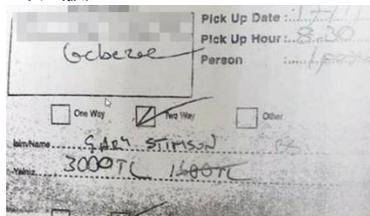
6 日、治安当局は、エディルネ、イズミル、シヴァス、ハタイ及びヴァンの各県において、欧州諸国又はトルコへの不法入国を企図した移民 547 名を拘束した。エディルネでは、沿岸警備隊がギリシャに不法入国しようとしたパレスチナ人等 164 名を拘束し、ジャンダルマが別のオペレーションでシリア人等 73 名を拘束した。同様に、イズミルでは 60 名、ハタイでは 64 名、シヴァスとヴァンではそれぞれ 186 名が拘束された。(11 月 17 日付 HDN インターネット版)

**● 内務省が過去 1 週間の治安成果を発表**

20 日、内務省は、過去 1 週間の治安成果を報告した。同期間中、テロ対策オペレーションが 1,366 回実施され、ISIL 関連 63 名、FETO 関連 666 名、極左グループ関連 10 名が拘束された。PKK については、58 名(死亡 45 名、拘束 10 名、投降 3 名)が無力化された。一般犯罪では、5,273 名が拘束され、うち 4,213 名が薬物及び密輸犯罪の容疑者であった。(11 月 20 日付 HDN インターネット版)

**● 送迎業者が英国人旅行者にアタテュルク国際空港からコジャエリ県の送迎で 3 千トルコリラを請求**

イスタンブールを訪れた英国人旅行者がアタテュルク国際空港からコジャエリ県ゲブゼ間の送迎で 3 千トルコリラを請求された。送迎業者を手配した会社が同人からの相談を受けてデビットカードの引落としを止めようとしたが間に合わず、刑事告訴を行った。通常、アタテュルク国際空港からゲブゼまでは、約 350 トルコリラが相場となっている。(11 月 22 日付 HDN インターネット版)



(写真は、11 月 22 日付 HDN 紙インターネット版より)

**● アタテュルク国際で爆弾騒ぎ: 爆弾等は発見されず**

22 日、イスタンブールのウクライナ航空事務所に対して、ウクライナ行き航空機に爆弾があるとの不審電話があったため、警察が同時間帯に出発が予定されていたウクライナ航空 2 便に対して安全確認を実施したが、爆弾等は発見されず、同機は、約 3 時間遅れで運航した。(11 月 22 日付 HT インターネット版)

**軍事****● NATO 軍事演習でアタテュルク初代大統領の写真を攻撃ターゲットとして使用**

8 日から 17 日まで、ノルウェーで実施された NATO の軍事演習において、アタテュルク初代大統領の写真が訓練の攻撃ターゲットとして使用されるとともに、NATO 職員がエルドアン大統領の名前で SNS のアカウントを開設し、NATO 批判をしていたことが判明したことを受け、トルコ政府は、同訓練に参加していたトルコ兵 40 名を撤収させて抗議した。NATO 事務総長は、トルコ側に謝罪するとともに、本件に関与した 2 名は直ちに訓練から外され、調査が進められていると述べた。(11 月 17 日付 HDN インターネット版)

**● S-400 ミサイルシステムは 2019 年に配備予定**

22 日、ジャンクリ国防相は、「トルコがロシアと契約した 2 機の S-400 ミサイルシステムのうち 1 機が 2019 年に配備される。同システムによりトルコは重要な防空能力を手に入れることになる。」と述べた。(11 月 22 日付 HDN インターネット版)



(写真は、11 月 22 日付 HDN 紙インターネット版より)

## 社会

### ●2071年まで水不足の心配なし

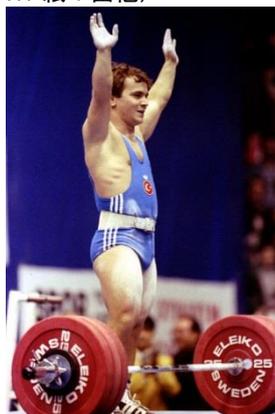
今秋は過去44年間で最も降水量が少なく水不足が懸念されているが、イスタンブール市水道局長は「現在のダム貯水率は54%。供給源となっているサカルヤ県のメレン川の水量は十分ある。現在建設を進めているメレン・ダムが完成すれば2071年まで水不足の心配はない。」と述べた。(11月17日付HT紙4面)

### ●メトロバス、新路線を設置予定

イスタンブール市交通局長は11月の市議会本会議で「2018年予算と行動計画」を発表し、来年度も今年に続きメトロバスのサービス向上を年間の第一目標とすることを明らかにした。また、ベイリクデズ区とシリブリ区を結ぶ路線を新設する計画も明らかにした。(11月17日付HT紙4面)

### ●伝説の重量挙げ選手、死去

18日、「ポケット・ヘラクレス」のニックネームで親しまれた、伝説の重量挙げ選手ナウム・スレイマンオール氏が死去した。同氏は1986年にブルガリアから亡命し、欧州選手権を6回、世界選手権を7回制したほか、オリンピックでは1988年(ソウル)、1992年(バロセロナ)、1996年(アトランタ)で3大会連続金メダルを獲得し、国民的英雄となっていた。(11月20日付HT紙1面他)



(写真は、11月18日付HT紙インターネット版から)

### ●大気汚染が深刻化

18日及び19日に開催された「大気汚染と健康」シンポジウム(協力:欧州呼吸器学会、世界保健機構(WHP))で、トルコ呼吸器学会はWHOの定める基準と比較し、イスタンブールの大気汚染は深刻な状況にあると発表した。特に、エセンユルト区、カドゥキョイ区のギョズテペ地区、ファーティヒ区のアクサライ地区について専門家は「可能であれば引越すことを薦める」とコメントしている。なお、大気汚染が少ない区は、シリブリ区、シレ区、サルエル区となっている。(11月20日付HT紙23面他)

### ●ハギア・ヨルギ教会、3年の修復を経てオープン

19日、ユネスコ世界遺産でもあるハギア・ヨルギ・ギリシャ正教会(聖ゲオルギオス大聖堂)が3年の修復工事を終え再オープンした。同工事は「異教の礼拝堂修復プロジェクト」の一環として首相府基金総局の支援で行われていたもの。オープニング式典においてパーソロミュー総主教は、エルドアン大統領、トルコ政府及び首相府に感謝の意を表明し、本プロジェクトは「異教徒同士が共存できることを示す好例となる」と述べた。(11月21日付HDN紙2面)



(写真は、11月21日付HDN紙インターネット版から)

### ●700年前の旧約聖書が押収される

ムーラ県で700年前のものと思われるガゼルの皮に記された旧約聖書が発見され、当局に押収された。警察当局は、歴史的遺物専門の密輸組織が同聖書の買い手を探しているという情報をもとに、おとり捜査を行い、容疑者を逮捕した。7千5百万トルコリラ相当の価値があると思われる同聖書は、調査のためフェティエ博物館に送られた。(11月21日付HDN紙7面他)



(写真は、11月20日付HDN紙インターネット版から)

### ●バス運転手、乗客と口論となり刃物を出す

20日朝、乗客と口論になった市バスの運転手が刃物を振り回す事件が発生した。警察は同運転手の身柄を拘束して取り調べているが、イスタンブール市は同運転手を即日解雇した。2016年にもメトロバスの運転手が口論となった乗客に刃物で切りつける事件が発生している。(11月21日付HT紙20面)

### ●「第3回マルマラ海シンポジウム」を開催

21日、イスタンブール市を含むマルマラ海沿岸の自治体は、「第3回マルマラ海シンポジウム」を開催した。ウイサル・イスタンブール市長は「マルマラ海は黒海とエーゲ海を結ぶ重要な内海であり、マルマラ海の汚染は両海の生態系を直撃する。これ以上の汚染を防ぐとともに水質の改善に努めたい。」と述べた。(11月22日付HT紙13面)

### ●冬タイヤ装着義務まで残りわずか

トラックやバスなどの商用車の冬タイヤ装着義務が12月1日から始まる。期間は来年4月1日までで、違反車には625トルコリラの罰金が科せられる。なお、私用等の乗用車については装着義務がないものの、安全のために装着することが望ましいと運輸海事通信省が呼び掛けている。(11月23日付HT紙13面)

### ●トルコ人医師と技術者、心臓サポート・システムを開発

トルコ人医師と技術者が「イスタンブールの心臓」と命名する新しい心臓サポート・システムを開発し、豚を用いた動物実験を行った。同システムは100パーセントトルコ製で、17時間持続するバッテリーと電子制御システムを備え、1分間に8リットルの血液を送り込むことができる。開発に当たった大学教授達は今後も試験を重ね、2年後には実用化を目指したいとしている。(11月23日付HDN紙2面)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

機関・団体等

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	PKK	クルディスタン労働党
AKP	公正発展党	PYD	シリア民主主義連合党
BDDK	銀行規制監督庁	RTUK	ラジオ・テレビ高等機構
BOT	建設・運営・譲渡方式	SNC	シリア国民評議会
CHP	共和人民党	SPK	証券取引監査院
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	TBB	トルコ弁護士協会/トルコ銀行協会
DHMI	国家航空局	THY	ターキッシュ・エアラインズ
HDP	国民民主党	TIKA	トルコ協力発展機構
IDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOKI	トルコ集合住宅開発局
ISO	イスタンブール工業会議所	TPAO	トルコ石油公団
ISID	イラク・レバントのイスラム国	TUBITAK	トルコ科学技術研究機構
ITO	イスタンブール商業会議所	TUIK	トルコ統計庁
KRG	クルディスタン地域政府	TUPRAS	トルコ石油精製会社
MHP	民族主義者行動党	TUSIAD	トルコ産業・実業家協会
MIT	国家債発行	YOK	トルコ高等教育評議会
MUSIAD	トルコ独立産業家・実業家協会	YSK	選挙高等委員会

引用メディアの略称

略語	正式名称	略語	正式名称
A	Aksam	HDN	Hürriyet Daily News
AA	Anadolu News Agency	HT	Haberturk
AFP	Agence France Presse	IA	Ihlas News Agency
Cumhuriyet	Cumhuriyet	JP	Interpress
D	Dünya	M	Milliyet
DA	Doğan News Agency	P	Posta
DS	Daily Sabah	S	Sabah
H	Hürriyet	V	Vatan

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail: istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB: [http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index\\_j.html](http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html)

Facebook: <http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu>

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

[istanbulweekly@it.mofa.go.jp](mailto:istanbulweekly@it.mofa.go.jp)

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2017.1.1～2017.11.23 ※総領事館に訴出があったものを集計								
	窃 盗		詐 欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2016年		7件		2件		24件		2件
2017年	0件	6件	0件	1件	0件	11件	0件	0件